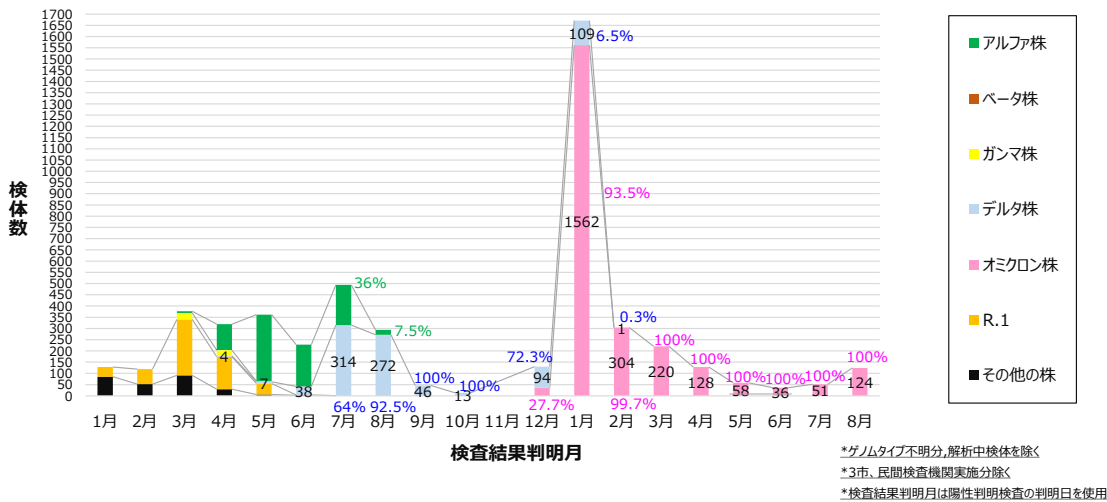


# 千葉県衛生研究所で実施したゲノム解析による新型コロナウイルス変異状況について

2022年9月15日

新型コロナウイルスの県衛生研究所把握分の検体（県衛生研究所で保健所等から収集した検体）において、2022年7月に検査陽性が判明した検体はすべて（51検体/51検体, 100%）オミクロン株でした。また2022年8月に検査陽性が判明した検体についてもこれまで（2022年8月30日まで）のところ、すべて（124検体/124検体, 100%）がオミクロン株となっています。本年3月以降 COVID-19 陽性検体はすべてオミクロン株となっており、デルタ株や N501Y 変異陽性（アルファ株、ベータ株、ガンマ株）、E484K 単独変異株（R.1 等）、その他の株の検体は確認されていません。

【月別】2021年1月～2022年8月30日までのCOVID-19陽性検体の変異状況の推移(N=5102)



【月別】2021年1月～2022年8月30日までに結果が判明したCOVID-19陽性検体の変異状況と割合

検査結果判明月	アルファ株 (B.1.1.7系統)		ベータ株 (B.1.351系統)		ガンマ株 (P.1系統)		デルタ株(B.1.617.2, AY.xx 等)※疑似含む		オミクロン株(BA.X, BE, BF系 統)※疑似含む		R.1		その他の株 (従来株等)		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
2021年1月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	43	34%	85	66%	128
2月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	67	56%	52	44%	119
3月	8	2.1%	0	0.0%	29	7.7%	0	0.0%	0	0.0%	249	66%	91	24%	377
4月	113	35.4%	3	0.9%	25	7.8%	4	1.3%	0	0.0%	145	45%	29	9%	319
5月	296	82.0%	0	0.0%	3	0.8%	7	1.9%	0	0.0%	49	14%	6	2%	361
6月	186	81.6%	0	0.0%	0	0.0%	38	16.7%	0	0.0%	2	1%	2	1%	228
7月	179	36.2%	0	0.0%	0	0.0%	314	63.6%	0	0.0%	1	0%	0	0%	494
8月	22	7.5%	0	0.0%	0	0.0%	272	92.5%	0	0.0%	0	0%	0	0%	294
9月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	46	100.0%	0	0.0%	0	0%	0	0%	46
10月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	13	100.0%	0	0.0%	0	0%	0	0%	13
11月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0%	0	0%	0
12月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	94	72.3%	36	27.7%	0	0%	0	0%	130
2022年1月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	109	6.5%	1562	93.5%	0	0%	0	0%	1671
2月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%	304	99.7%	0	0%	0	0%	305
3月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	220	100.0%	0	0%	0	0%	220
4月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	128	100.0%	0	0%	0	0%	128
5月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	58	100.0%	0	0%	0	0%	58
6月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	36	100.0%	0	0%	0	0%	36
7月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	51	100.0%	0	0%	0	0%	51
8月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	124	100.0%	0	0%	0	0%	124
合計	804	15.8%	3	0.1%	57	1.1%	898	17.6%	2519	49.4%	556	10.9%	265	5.2%	5102

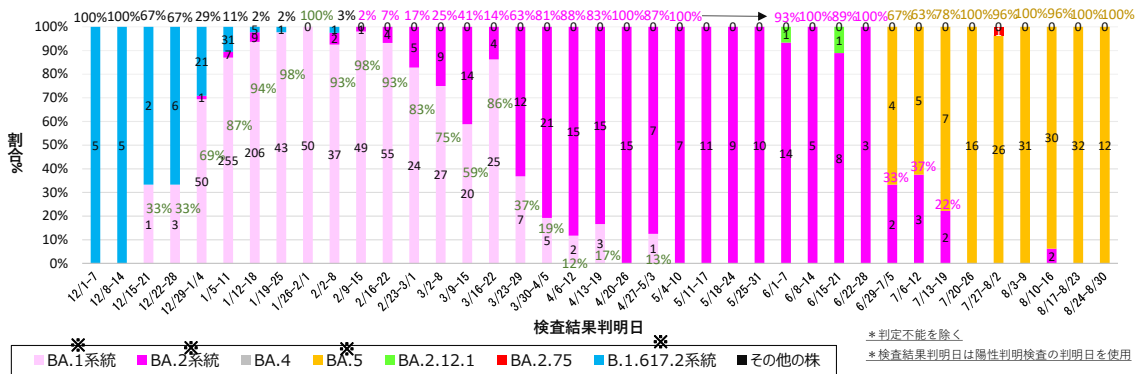
## ■2021年12月以降のSARS-CoV-2ゲノムタイプ別検出割合の推移（検査結果判明週ごと）

AY.29等のデルタ株の系統は2021年12月中旬以降に検査陽性が判明した検体中において検出割合が減少し、2022年2月2日-8日の週を最後に確認されていません。現在、県内陽性検体の全てを占めるオミクロン株の系統別ではBA.1系統（※以下注）が2021年12月中旬以降増加し、2022年2月中旬～下旬まで主流の系統でしたが、その後BA.2系統（※以下注）の検出割合が増加し始め、2022年3月末～4月頃には全体の8割以上を占めるようになり、2022年6月末までほぼ全てをBA.2系統が占めていました。2022年7月上

旬から BA. 5 系統（※以下注）の検出割合が急激に増加し、7 月 20 日-26 日の週以降、全体の 96%~100%を占め、ほぼ全ての陽性検体が BA. 5 系統に置き換わった状況です。

なお BA. 5 系統よりも感染力が強い可能性があると考えられる SARS-CoV-2 の変異株 BA. 2. 75 系統は 2022 年 7 月 27 日-8 月 2 日の週に 1 検体確認されています。

2021年12月以降のSARS-COV-2変異株系統別検出割合の推移(検査結果判明日別)



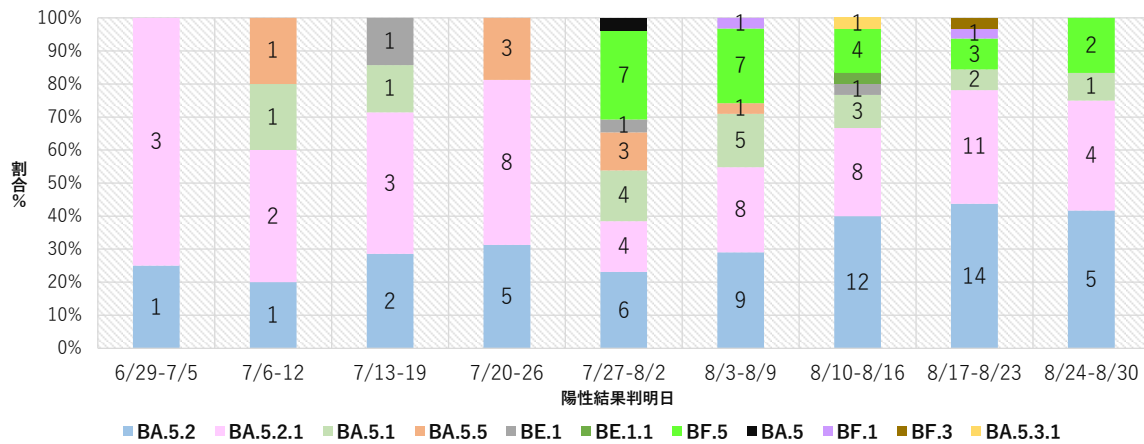
※BA. 1 系統 : BA. 1, BA. 1. 1, BA. 1. 1. 2, BA. 1. 15 等

※BA. 2 系統 : BA. 2, BA. 2. 10, BA. 2. 10. 2, BA. 2. 24, BA. 2. 29, BA. 2. 3, BA. 2. 3. 1 等 BA. 2. 12. 1, BA. 2. 75 を除く

※B. 1. 617. 2 系統 : B. 1. 617. 2, AY. 122. 1, AY. 29, AY. 29. 1 等

※BA. 5 系統 : BA. 5 , BA. 5. 1, BA. 5. 2, BA. 5. 2. 1, BA. 5. 3. 1, BA. 5. 5, BE. 1, BE. 1. 1, BF. 1, BF. 3, BF. 5 等

★参考 : BA. 5 等の系統別検出状況 (陽性結果判明週別)



・ 2022 年 6 月 29 日~8 月 30 日までの各 BA. 5 系統別の検出割合

